

編集後記

地元の山口県に戻ってきて早4年が経ち5年目を迎えようとしています。山口大学に赴任以降、私自身の生活様式は激変しました。仕事環境はもちろんですが、独身を卒業して瞬く間に家族も増え、育児がカテゴライズされました。その中でひとつ、保育園の送迎も加わりました。これを経験された学会員の皆様も多いかと思いますが、当初、わが娘は保育園に着いた途端に「帰る、いやだ!」と泣き叫びました。見知らぬ世界に放り投げ出される彼女の気持ちを汲むと、私の心は一種の罪悪感と寂しさに複雑でした。しかし、数日も経つと「いってらっしゃい!」と元気に遊んでこちらには見向きもしない始末。あらまあ、適応力のなんと高いことか。当初とは違う寂しさもありましたが、新しい世界にも逞しく順応する姿にほっとしたことを覚えています。親の心子知らずとは、すでに始まっているのだと痛感しました。コロナ禍の影響で、しばらくは止む無く登園できずにいましたが、最近ようやく再開を果たし、今はまた振り出しに戻って泣きじゃくりながら通っています。園での大きなイベントが中止になるなど、これまでと同様とはいき

ませんが、その中でも元気に育ってほしいと思う今日この頃です。そして、いかにパパっ娘に育てるか、良好な関係を持続できるかを、先輩学会員の方々にご教示いただきたいものです。

さて、この4年間でプラ核学会誌の編集委員としても早2年がたち、その任期を終えようとしています。大学時代から何気なく毎月届いていた学会誌ですが、特に編集に携わったこの2年間は、編集委員や執筆者の思いが詰まった愛着あるものに感じられます。本誌もいい意味で親の心子知らずかもしれせん。私を含めた学会員の皆さんの中に順応して、私たちの更なる活力の礎になればと思います。最後に、この編集に携われたことは大変光栄であるとともに、大切なご縁のたまものであると思っています。また、編集委員となることで、これまで少し疎遠になっていた研究分野、無縁だった新たな分野の先生方とも交流でき、よい刺激を受けました。個人的に少し宿題が残っていますが、今後もプラズマ・核融合の一躍を担う研究者でありたいと思います。(吉田雅史)

プラズマ・核融合学会 役員

会 長：森 雅博
副 会 長：安藤 晃 (推薦委員長：研究助成，男女共同参画委員長) 竹入康彦 (推薦委員長：学会賞，研究部会連絡会委員長)
常務理事：下妻 隆 (総務委員長)
理 事：荒巻光利 (編集委員長) 出射 浩 大勢持光一 大野哲靖
金子俊郎 木戸修一 (財務委員長) 小西哲之 齊藤輝雄
篠原孝司 (広報委員長) 神野雅文 中井光男 (年会運営委員長，企画委員長)
渡邊隆行 (企業展示検討委員長，支部・地区研究連絡委員長) 横峯健彦 和田 元
監 事：中村圭二，前田達志

プラズマ・核融合学会 領域長

基礎 荒巻光利 応用 渡邊隆行 核融合プラズマ 大野哲靖 プラズマ炉工学 小西哲之

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ：荒巻光利(日大) 副委員長：出射 浩(九大)
エディタ：古閑一憲(九大)，比村治彦(京都工繊大)，波多野雄治(富山大)，城崎知至(広島大)，藤田隆明(名大)，村上定義(京大)
編集委員：池添竜也(九大)，今寺賢志(京大)，岩田夏弥(阪大)，上野一磨(中京大)，大谷芳明(量研)，小川大輔(中部大)，
呉 準席(大阪市大)，小柳津 誠(量研)，加藤雄人(東北大)，河村学思(核融合研)，小林 真(核融合研)，小林政弘
(核融合研)，近藤康太郎(量研)，齋藤誠紀(山形大)，齋藤晴彦(東大)，柴田崇統(高エネ研)，清水鉄司(産総研)，
竹田圭吾(名城大)，田中宏彦(名大)，中村浩隆(阪大)，水口直紀(核融合研)，向井啓祐(京大)，本村大成(産総研)，
森田太智(九大)，森高外征雄(核融合研)，山田大将(長野高専)，安原 亮(核融合研)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第96巻第7号

編集・発行
〒464-0075 名古屋市中種区内山3丁目1-1 4階 印刷 株式会社荒川印刷
一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会 2020年(令和2年)7月25日
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485
E-mail: plasma@jspfor.jp URL: http://www.jspfor.jp/ 定価1,300円(税別)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。